

2026. 1. 11

* 週幸辰 *

No.2780 Vol.54-18

第1=9:00~10:15 第2=10:30~11:45 第3=18:00~19:00

東戸塚

「すると、もう一度、声が聞こえた。『神がきよめた物を、あなたがきよくな
いと言ってはならない。』」（使徒の働き 10:15）

<第1礼拝>

<第2礼拝>

司 会

前 奏 奏 樂

頌 栄 新聖歌 60 一同・起立

使 徒 信 条 新聖歌 826 頁 一同・起立

聖 書 交 読 詩篇 140 : 1 ~ 13 (旧 1082 頁) 一 同

祈 祷 司 会 者

暗 唱 聖 句 詩篇 40 : 1, 2 一 同

ワーシップ 力の主を、主の前にひざまずき 一 同

聖 書 拝 読 使徒 10 : 1 ~ 16 (新 253 頁) 司 会 者

説 教 「きよくなないと言ってはならない」 カポンポン頼基

賛美・献金 新聖歌 333

主 の 祈 り 歌・新聖歌 54 一同・起立

頌 栄 新聖歌 63 一同・起立

祝 祷 伊東 宏明

報 告

チャーチ・オブ・ゴッド 東戸塚キリスト教会

〒244-0804 横浜市戸塚区前田町 507-15 電話 045-821-2517

主任牧師:伊東献仁 牧師:伊東美穂 協力牧師:カポンポン頼基 名誉牧師:伊東宏明、伊東博子

2026年1月11日 聖日礼拝「きよぐないと言つてはならない」使徒 10:1～16
「すると、もう一度、声が聞こえた。『神がきよめた物を、あなたがきよぐないと言つてはならない。』」(使徒の働き 10:15)

序論

私たちは日常の中で、「受け入れられる／受け入れられない」という線を無意識に引いている。

その判断は信仰理解や人との関わりにも及ぶ。

1. 神はすでに異邦人コルネリウスに働いておられた

異邦人であるコルネリウスの祈りと施しは、神に覚えられていた。
救いは神の主導によって始まる。

2. 問題は異邦人ではなく、ペテロの理解にあった

ペテロは幻の中で「食べなさい」と命じられても拒んだ。
それは知識ではなく、長年身についた信仰の感覚によるものだった。

3. 神は頑なな心に繰り返し語りかけられる

「神がきよめたものを、きよぐないと言つてはならない」と三度語られた。
神はペテロを諦めず、理解が整えられるまで尊かれた。

4. 理解は従いの中で与えられる

ペテロは異邦人の家に行き、そこで初めて神の御心をはっきり理解した。
「分かった」とは、知識が増えたことではなく、自分が変えられたという告白である。

結論

教会は神が招かれる人を迎える場所

神の救いは、私たちの理解を待たない。

救いの広がりのために、まず教会の成長が必要である。